

省エネ

遮熱

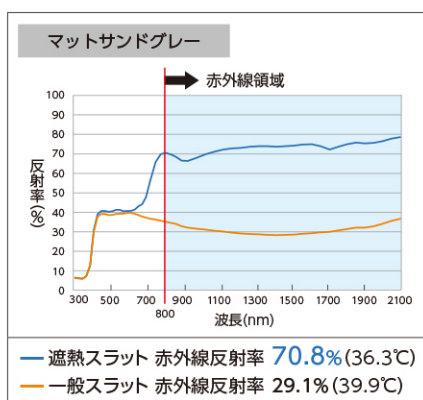
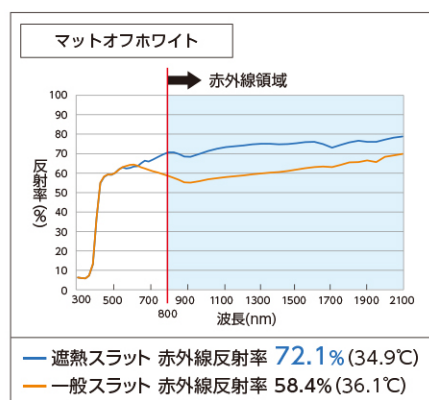
日射反射を高め、室内温度の上昇を抑える遮熱効果のあるスラットです。

窓から侵入する熱を抑える「遮熱」スラットを選んで、暑い夏をもっと快適に！

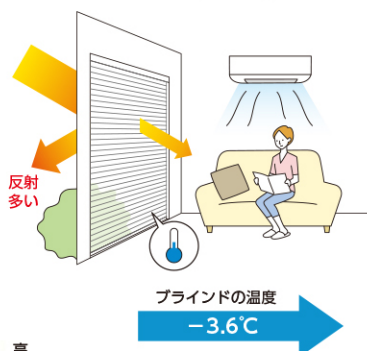
暑い夏の季節、室内を暑くする熱エネルギーは、その約73%が窓を通して室内に侵入してきます。
暑い夏を快適に過ごすためには、窓から侵入する熱エネルギーを軽減する「遮熱」がとても重要です。

■遮熱スラットについて

特殊な塗料の効果により日射熱を反射し、遮熱効果を高めています。暑さの元になる熱エネルギーを多く含む赤外線領域での反射が高いため、同色の一般のスラットと比べて、遮熱性能が高く、室内へ熱エネルギーが伝わることを軽減します。
一般のスラットでは、ホワイต์など薄い色と比べて、濃い色は赤外線の反射率が低く室内温度上昇につながってしまいます。
一方で遮熱性能の高いスラットでは、赤外線領域の反射率が高くなるため、特に濃い色では反射率が2倍以上となり、室内温度の上昇を防ぎます。



●シミュレーションの条件
・気象条件：東京・西面・7月23日
・窓面全日照射：701W/m²
・屋外温度：32.8℃
・室内温度：26℃
スラットカラー：マットサンドグレーの場合

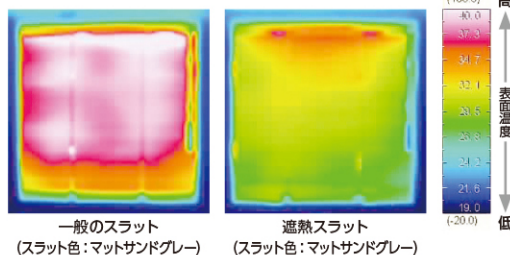


サーモグラフィー測定結果

遮熱スラットでは、ブラインド表面の温度が高くなりになっています。

●試験方法：

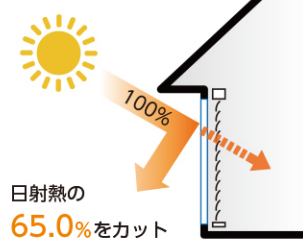
木枠に取付けたブラインドを、屋外側から約80cm離れたところからレフランプ（150W 4台）を照射し、240秒後にサーモカメラで撮影。



■省エネ効果のシミュレーション

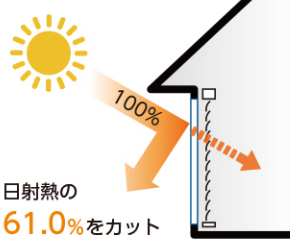
遮熱スラット

T-2569 (マトオフホワイト) の場合



電気使用量	18.3%	削減
電気代	6,392円	節約
CO ₂ 排出量	106kg	削減

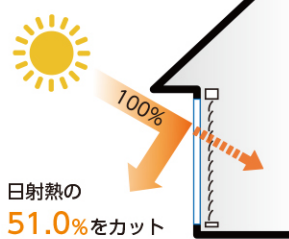
T-2574 (マットサンドグレー) の場合



電気使用量	17.8%	削減
電気代	6,218円	節約
CO ₂ 排出量	104kg	削減

一般のスラット

T-5336 (マットサンドグレー) の場合



電気使用量	16.9%	削減
電気代	5,880円	節約
CO ₂ 排出量	98kg	削減

上記は、「住宅」にシルキー RDSを取付けた時の夏季4ヵ月（6月～9月）の省エネシミュレーションです。
※「ガラスのみ」との比較です。シミュレーション条件については、223ページを参照してください。